

飽浦っ子学力向上プラン

子どもにかかわる『すべての人が総がかり』で飽浦小の学力を保障するプラン

＜学校教育目標・学校経営方針等と
関連した具体化案＞

＜課題と改善に向けた具体的取組＞

1年	聞く力、読解力、語彙力が低い。 ⇒読書の時間の確保 基礎・基本の徹底
2年	相手意識をもってコミュニケーションをとることが苦手 ⇒スピーチ活動の充実
3年	話を聞く力や語彙力が低い。 ⇒共感力の向上 読書活動の質と量の向上
4年	コミュニケーション能力の個人差 ⇒スピーチ活動の充実 質問力の向上
5年	意見を言う子どもが偏っており、対話が難しい ⇒話し合える雰囲気づくり、話型や活動の流れの提示・設定
6年	基礎・基本の定着 語彙力や経験不足 ⇒基礎・基本の徹底 話し合い活動や自主的活動の充実

【小学校6年間を通して育てたい子ども】
主体的に学び、健やかな心と体を育む
「えがおいっぱいの子ども」の育成
あったかでやさしい子
くふうしながら主体的に学ぶ子
のびのびとした元気な子
うつくしい心を育む子
らんと輝く目でチャレンジする子

『チームAkunoura』（すべての人が総がかりで）
一徹底・継続一で子どもは伸びる！

○校内指導の徹底継続

- ① 主体的・対話的な学習を目指した授業づくりの推進
- ② ICT機器を活用した授業づくりの推進
- ③ 家庭学習の習慣化
- ④ 読書活動の充実
- ⑤ あはは運動の徹底
- ⑥ 情報の共有

★今年度 数値目標

- ・校内研究で主体的・対話的な学びの場を目指した授業の全教職員の実施
- ・chromebook1日3回以上開き、生活や学習の場面で活用する。

★今年度 数値目標

- ・保護者への学校評価「家庭学習の習慣が身に付いている」に児童 95%（7月期 94%）、保護者 83%（7月期 82%）をめざす。

★今年度 数値目標

- ・図書室の年間貸し出し冊数 6000 冊をめざす。
- ・児童の 8 割のメンバーズ取得をめざす。

★今年度 数値目標

- ・学校評価「教育環境が充実し、整備されている」に保護者 99%（7月期 98%）、教職員 100%（7月期 100%）をめざす。

★今年度 数値目標

- ・1日1回時間割等の確認を行い、教育支援員の効果的的配置を設定。

◆教師の指導力向上

- 校内研修による授業改善
- ・主体的・対話的な学びの場の工夫
- 日々の授業の充実と工夫
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析による授業改善
- あじさいスタンダードに基づく授業
- 主体的・対話的な児童の育成についての研究

◆学習意欲の向上

- 授業との接続を考えた家庭学習
- ・あじさい box の活用
- ・chromebook の活用
- 学習スタイルの確立
- ・意欲が高まる授業
- ・子供が学ぶ授業
- ・「できた」「わかった」を実感できる授業

◆読書活動の充実

- 読書タイムの活用
- ・目標冊数の設定
- ・全児童「おすすめの本」紹介
- ・図書ファイルの活用
- ・図書支援員との連携
- ・学級図書の活用

◆学習環境の確保

- 安心して学べる場づくり
- 日課の工夫
- chromebook をいつでも使える環境づくり
- 図書及び chromebook を使った調べる活動
- 学習に向かうため素地（生活習慣）づくり

◆指導体制の充実

- 指導体制・児童理解の場の設定と情報の共有
- 必要に応じ、複数の教師による指導・支援
- 教育支援員の効果的な配置
- 「そろえる」の徹底
- ・「めあて」「まとめ」の設定

児童の実態＜生活＞

- 素直であるが、粘り強さに欠ける。
- 基本的な生活習慣や学習規律は個人差がある。
- 場に応じたあいさつや言葉遣いの使い分けを身に付けつつある。

＜学習＞

- 集中して話を聞くことが苦手である。
- 自分の考えや気持ちを伝えることが苦手である。
- 自分の考えを組み立てて考える、表現することが苦手である。

『学 び を さ さ え る 土 台 づ く り 』
あ く の う ら 大 好 き

◆家 庭◆

- 基本的な生活習慣づくり
- ・早寝 早起き 朝ご飯
- 学校公開等への参加
- 読書環境づくり
- 家庭生活習慣づくり
- あはは運動の推進
- 家庭学習の徹底と習慣化
- ・「家庭学習の手引き」の活用
- ・「chromebook 学習ルールブック」
- ・将来を見据えた指導と啓発
- 開かれた学校づくりへの理解
- 育友会・地域と連携した学校行事や教育活動の充実
- 学校だより等による学校理解

◆地 域◆

- 地域行事での道徳性の育成
- 地域の方々の学校教育への協力
- 地域の安全確保
- 地域各団体（自治会、育成協等）の連携